



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 伊藤忠食品株式会社

コード番号 2692 URL <http://www.itochu-shokuhin.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 岡本 均

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画本部本部長 (氏名) 小谷 信之 TEL 03-5411-8513

四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 2019年11月28日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、証券アナリスト向け）

(百万円未満四捨五入)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	339,206	△1.8	1,400	△14.9	1,923	△7.0	1,302	△7.0
2019年3月期第2四半期	345,461	3.4	1,646	5.2	2,068	6.8	1,401	△25.0

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 684百万円 (△66.3%) 2019年3月期第2四半期 2,030百万円 (△17.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	102.62	—
2019年3月期第2四半期	110.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	240,211	85,245	35.5
2019年3月期	232,289	85,049	36.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 85,173百万円 2019年3月期 84,974百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	37.50	—	37.50	75.00
2020年3月期	—	37.50			
2020年3月期（予想）			—	37.50	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	700,000	4.9	4,700	16.3	5,800	17.3	4,000	20.9	315.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	13,032,690株	2019年3月期	13,032,690株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	345,337株	2019年3月期	345,337株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	12,687,353株	2019年3月期2Q	12,687,361株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（第2四半期決算補足説明資料の入手方法）

第2四半期決算説明資料は2019年10月31日（木）に当社ウェブサイトへ掲載いたします。

（その他）

当社の四半期連結財務諸表に記載される科目及びその他の事項の金額は従来、百万円未満を切り捨てて表示しておりましたが、当第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び当第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）より、四捨五入による表示へ変更しております。当該変更に伴い、比較情報についても四捨五入へ組み替えて表示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)におけるわが国経済は、米中の貿易摩擦の長期化や緊迫する中東情勢など不安定な国際情勢による世界経済の減速により製造業を中心に下押し圧力が強まっております。

食品流通業界におきましては、実質賃金の伸び悩み等の影響により消費者の生活防衛・節約志向は依然として強く、小売業においても業種・業態の垣根を越えた競争の激化や人手不足とこれに伴う労働コストの上昇や物流費の高騰などから、引き続き厳しい事業環境となりました。

このような状況の中、当社グループは、当連結会計年度のミッションを『「進化」と「成長」』とし、「営業・物流・情報・マーチャндаイジング・マーケティング・決済」という卸の基本機能を高めるとともに、業務改革のさらなる推進やローコストオペレーションを追求してまいりました。また、優良顧客との取引深耕はもとより、前年度に資本参加をした菓子卸コンフェックスホールディングス(株)との物流・商流での取り組み、「DELISH KITCHEN」等のレシピ動画サイトを運営する(株)エブリーとの資本業務提携によるデジタルサイネージ事業の推進、液体急速冷凍の技術を活用したリキッドフリーザー方式凍結機「凍眠」の製造販売を行う(株)テクニカンとの業務提携による共同ブランド「凍眠市場(いちば)」の立ち上げなど、取引先への新たな付加価値の提供や卸機能のさらなる強化に向けた施策を実行してまいりました。また、食品ロス削減のためのフードシェアリングプラットフォーム「TABETE」を運営する(株)コークッキングへ出資することで、本業を通じた社会課題の解決に向けて新しいビジネスへのアプローチをはじめました。

当第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)の売上高は、組織小売業との取引深耕を推し進めたことや消費税増税前の駆け込み需要などによる取引増加が発生したものの、前年度下期から一部取引が減少した影響やビール・嗜好飲料の売れ行き不振、さらに夏場の天候不順などがあり、前年同期比1.8%(6,255百万円)減少の339,206百万円となりました。

利益面では、販売費及び一般管理費の削減効果により前年同期比で改善したものの、減収による売上総利益の減少の影響があり、経常利益は前年同期比7.0%(144百万円)減少の1,923百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比7.0%(99百万円)減少の1,302百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は240,211百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,922百万円の増加となりました。これは、前連結会計年度末の期末日休日要因がなくなったことによる減少と、季節変動要因等による増加の結果、売上債権が3,350百万円、未収入金が5,087百万円増加したことなどによるものであります。

一方、負債は、154,967百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,726百万円の増加となりました。これは、売上債権と同様、前連結会計年度末の期末日休日要因がなくなったことによる減少と、季節変動要因等による増加の結果、仕入債務が8,178百万円増加したことなどによるものであります。

また、純資産は、85,245百万円となり、前連結会計年度末に比べ195百万円の増加となりました。これは、利益剰余金が増加したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、461百万円の収入となり、前年同期と比べ7,798百万円の収入の減少となりました。これは、前年同期が期末日休日要因により増加したことの反動、及び当第2四半期連結会計期間に前連結会計年度末の期末日休日要因がなくなったことにより減少したことなどによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、15,743百万円の支出となり、前年同期と比べ15,498百万円の支出の増加となりました。これは、グループ預け金の増加による支出(純額)が10,000百万円増加したこと及び投資有価証券の取得による支出が5,447百万円増加したことなどによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、828百万円の支出となり、前年同期と比べ13百万円の支出の増加となりました。これは、リース債務の返済による支出が13百万円増加したことなどによるものであります。

これらを合わせた当第2四半期連結累計期間の現金及び現金同等物の増減額は、16,110百万円の支出(前年同期は7,199百万円の収入)となり、現金及び現金同等物の期末残高は7,995百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年4月26日に公表いたしました2020年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,535	1,949
受取手形及び売掛金	88,336	91,686
商品及び製品	14,266	15,826
未収入金	20,438	25,525
グループ預け金	45,600	41,800
その他	173	576
貸倒引当金	△35	△38
流動資産合計	173,312	177,323
固定資産		
有形固定資産	20,697	19,835
無形固定資産	858	816
投資その他の資産		
投資有価証券	25,896	30,518
退職給付に係る資産	1,497	1,528
その他	10,193	10,346
貸倒引当金	△164	△156
投資その他の資産合計	37,422	42,237
固定資産合計	58,978	62,888
資産合計	232,289	240,211
負債の部		
流動負債		
買掛金	122,164	130,341
1年内返済予定の長期借入金	21	21
未払法人税等	693	555
賞与引当金	1,146	906
役員賞与引当金	60	31
その他	9,986	10,514
流動負債合計	134,068	142,367
固定負債		
長期借入金	1,459	1,449
設備休止損失引当金	77	50
資産除去債務	469	475
退職給付に係る負債	360	370
その他	10,806	10,255
固定負債合計	13,172	12,599
負債合計	147,240	154,967

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,923	4,923
資本剰余金	7,165	7,165
利益剰余金	65,181	66,007
自己株式	△1,185	△1,185
株主資本合計	76,085	76,911
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,824	8,185
退職給付に係る調整累計額	66	77
その他の包括利益累計額合計	8,890	8,262
非支配株主持分	75	72
純資産合計	85,049	85,245
負債純資産合計	232,289	240,211

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	345,461	339,206
売上原価	327,286	321,421
売上総利益	18,175	17,784
販売費及び一般管理費	16,529	16,384
営業利益	1,646	1,400
営業外収益		
受取利息	70	74
受取配当金	232	259
不動産賃貸料	130	210
持分法による投資利益	40	46
その他	112	124
営業外収益合計	584	714
営業外費用		
支払利息	72	70
不動産賃貸費用	54	108
その他	36	12
営業外費用合計	162	191
経常利益	2,068	1,923
特別利益		
固定資産売却益	2	—
特別利益合計	2	—
税金等調整前四半期純利益	2,070	1,923
法人税、住民税及び事業税	521	505
法人税等調整額	147	107
法人税等合計	668	612
四半期純利益	1,401	1,312
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	10
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,401	1,302

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,401	1,312
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	589	△633
退職給付に係る調整額	39	12
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△7
その他の包括利益合計	629	△628
四半期包括利益	2,030	684
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,029	687
非支配株主に係る四半期包括利益	1	△3

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,070	1,923
減価償却費	1,223	1,218
持分法による投資損益(△は益)	△40	△46
固定資産売却損益(△は益)	△2	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△7	△6
賞与引当金の増減額(△は減少)	△301	△240
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	29	△5
受取利息及び受取配当金	△302	△333
支払利息	72	70
売上債権の増減額(△は増加)	△5,363	△3,350
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,221	△1,560
未収入金の増減額(△は増加)	△3,892	△5,049
差入保証金の増減額(△は増加)	△55	△22
仕入債務の増減額(△は減少)	17,569	8,178
その他	△371	92
小計	9,410	870
利息及び配当金の受取額	275	299
利息の支払額	△71	△69
法人税等の支払額	△1,354	△639
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,259	461
投資活動によるキャッシュ・フロー		
グループ預け金の預入による支出	△1,000	△14,000
グループ預け金の払戻による収入	1,000	4,000
有形固定資産の取得による支出	△146	△73
有形固定資産の売却による収入	2	3
無形固定資産の取得による支出	△93	△170
投資有価証券の取得による支出	△67	△5,514
投資有価証券の売却による収入	—	7
その他	58	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△246	△15,743
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△10	△10
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△328	△341
配当金の支払額	△476	△476
非支配株主への配当金の支払額	△0	△0
自己株式の取得による支出	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△815	△828
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	7,199	△16,110
現金及び現金同等物の期首残高	28,112	24,105
現金及び現金同等物の四半期末残高	35,311	7,995

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(表示方法の変更)

(四半期連結貸借対照表関係)

親会社である伊藤忠商事㈱のグループ金融制度利用に伴う資金の預入については、前連結会計年度において「流動資産」の「預け金」に含めて掲記しておりましたが、資金の預入の状況を明確に表示させるため、第1四半期連結会計期間より「流動資産」の「グループ預け金」として区分掲記することといたしました。また、この表示方法の変更を比較情報へ反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において「流動資産」の「預け金」に表示しておりました45,612百万円は、「グループ預け金」45,600百万円、「預け金」12百万円とし、これに伴って「預け金」12百万円は金額的重要性が軽微となったことから「その他」に含め、「その他」を160百万円から173百万円に組み替えております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)及び

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

当社及び連結子会社の報告セグメントは、食料品卸売事業のみであり、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

3. 補足情報

販売の状況

①商品分類別売上高

商品分類	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
ビール	92,900	26.9	85,072	25.1	△7,828	△8.4
和洋酒	53,035	15.4	52,223	15.4	△812	△1.5
調味料・缶詰	50,035	14.5	53,122	15.7	3,087	6.2
嗜好・飲料	75,548	21.9	74,302	21.9	△1,246	△1.6
麺・乾物	22,537	6.5	23,226	6.8	689	3.1
冷凍・チルド	12,508	3.6	13,317	3.9	809	6.5
ギフト	26,001	7.5	25,186	7.4	△815	△3.1
その他	12,898	3.7	12,759	3.8	△140	△1.1
合計	345,461	100.0	339,206	100.0	△6,255	△1.8

(注) 発泡酒及びビール風アルコール飲料(第3のビール)の売上高は「ビール」に含んでおります。

②業態別売上高

業態	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
卸売業	45,088	13.0	43,767	12.9	△1,321	△2.9
百貨店	14,081	4.1	14,542	4.3	461	3.3
スーパー	212,806	61.6	210,491	62.1	△2,315	△1.1
CVS・ミニスーパー	37,424	10.8	34,442	10.1	△2,982	△8.0
その他小売業	20,290	5.9	20,398	6.0	108	0.5
その他	15,771	4.6	15,566	4.6	△205	△1.3
合計	345,461	100.0	339,206	100.0	△6,255	△1.8